

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 01 雇用の創出と雇用環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
労働者 企業	雇用が創出されるとともに、労働者の福利厚生が充実しています。

施策の成果状況と評価

指標①	有効求人倍率（年平均）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工労政課】	倍	1.07	1.18	1.26	➔
評価	<p>(状況) 有効求人倍率（年平均）は、1.26倍となっており、総合計画基準値（H28）と比較し0.19ポイント増加し、目標値を達成しています。 (原因) 全国的に人手不足となっており、活発な経済活動に伴い企業からの求人が多く、倍率が上昇していると考えられます。</p>						☀ (向上)
							☑ (達成)

指標②	雇用保険受給者実人数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工労政課】	人	5,537	5,252	4,613	➔
評価	<p>(状況) 雇用保険受給者実人数は、4,613人となっており、総合計画基準値（H28）と比較し924人減少し、目標値を達成しています。 (原因) 事業所の閉鎖などによる離職者があったものの、企業の求人意欲が旺盛なため再就職が順調に進み、雇用保険受給者が減少したと考えられます。</p>						☀ (向上)
							☑ (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。



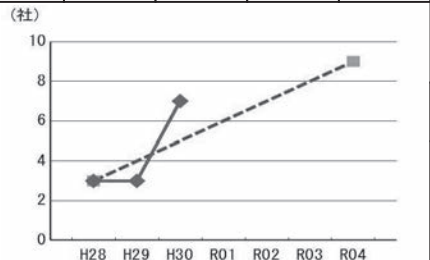
□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進



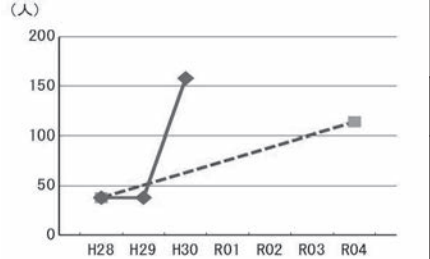
基本事項 02 雇用の確保

基本事項 03 労働者福利厚生の充実



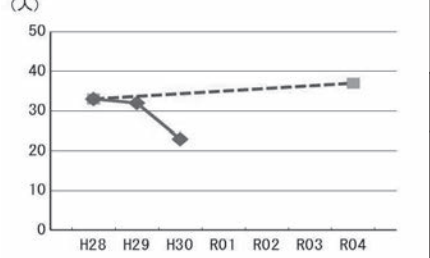
基本事項01 企業誘致の推進

指標①	市内立地企業数（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工労政課】	社	3	3	7	9	 (向上) 目標達成度  (中)
評価	(状況) 県工業開発条例に基づく新設の工場設置届出書によると、市内立地企業数（累計）は7社であり、総合計画基準値（H28）と比較し4社増加しており、目標値達成に向けて着実に向上しています。 (原因) 全国トップクラスである本市の企業立地支援制度の周知及び国の制度である「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」制度の利活用が図られたことによるものです。						



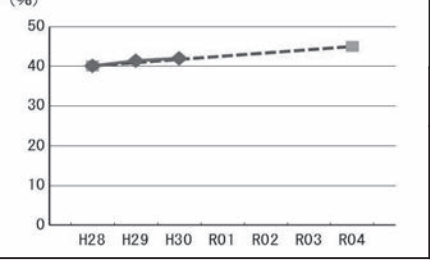
基本事項01 企業誘致の推進

指標②	市内立地企業による雇用数（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工労政課】	人	38	38	158	114	 (向上) 目標達成度  (達成)
評価	(状況) 県工業開発条例に基づく新設の工場設置届出書の雇用計画によると、市内立地企業による雇用数（累計）は158人であり、総合計画基準値（H28）と比較し120人増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 全国トップクラスである本市の企業立地支援制度の周知及び国の制度である「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」制度の利活用が図られたことによるものです。						

基本事項02 雇用の確保

指標①	市主催就職支援事業による就職者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工労政課】	人	33	32	23	37	 (低下) 目標達成度  (低)
評価	(状況) 市主催就職支援事業による就職者数は23人で、総合計画基準値（H28）と比較し10人減少し、順調ではありません。 (原因) 全国的に売り手市場であり、企業の求人活動が活発なことから、通常の就職活動による就職が容易になっているものと考えられます。						

基本事項02 雇用の確保

指標②	ハローワーク須賀川における就職率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工労政課】	%	40.1	41.4	42.0	→	 (向上) 目標達成度  (低)
評価	(状況) ハローワーク須賀川における就職率は42.0%で、総合計画基準値（H28）と比較し1.9ポイント増加し、順調です。 (原因) 全国的に人手不足であることから、求職者の早期就職に結びついているものと考えられます。						

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進
基本事項 02 雇用の確保
基本事項 03 労働者福利厚生の充実

基本事項03 労働者福利厚生 of 充実

指標①	勤労者互助会の加入者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	評価	【商工労政課】	人	221	231	204	250
	(状況) 勤労者互助会の加入者数は204人で、総合計画基準値(H28)と比較し17人減少し、順調ではありません。 (原因) 一部の事業所で多くの従業員が退会されたことなどにより、退会者が新規加入者を上回ったため会員が減少しました。また、互助会の事業について知らない人や加入要件に該当せず加入できない人がいることも考えられます。						目標達成度 (低)

基本事項03 労働者福利厚生 of 充実

指標②	勤労者福利厚生施設利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	評価	【商工労政課】	人	14,594	12,341	12,927	19,000
	(状況) 勤労者福利厚生施設利用者数は12,927人で、総合計画基準値(H28)と比較し1,667人減少し、順調ではありません。 (原因) 対象施設である労働福祉会館と勤労青少年ホームの両方において利用者が減少しており、労働福祉会館については、施設の老朽化により魅力が低下していると考えられます。						目標達成度 (低)

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 02 農林業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
農業者	農業経営の効率化により、農業所得の安定・向上が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	1戸当たりの農業所得	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【農政課】	千円	563	566	499	→
評価	<p>(状況) 1戸当たりの農業所得は499千円で、総合計画基準値 (H28) と比較し64千円減少しており、順調ではありません。 (原因) 本市農業は水稻が中心であり、米の価格や収穫量が農業所得へ大きな影響を及ぼします。平成30年度は少雨高温による渇水被害の影響により、米の収穫量や品質が低下したことから、農業収入が減少したものと考えます。</p>		<p>(千円)</p>				目標達成度 (低)

指標②	農産物の売上高 (JA)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【農政課】	百万円	4,453	4,830	4,983	→
評価	<p>(状況) 農産物の売上高 (JA) は4,983百万円で、総合計画基準値 (H28) と比較し530百万円増加しており、順調です。 (原因) 風評被害に対する安全・安心のPR効果により、消費者の理解が得られたこと等が売上高増加の要因と考えます。</p>		<p>(百万円)</p>				目標達成度 (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な担い手の育成・確保
基本事項 02 農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03 農業経営の安定確保
基本事項 04 特産農産物の生産振興
基本事項 05 特産農産物の販売促進

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標①	認定農業者率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	7.4	7.7	7.7	9.3	(横ばい)
評価	基準値は、2015 (H27) に取得した数値です。 (状況) 認定農業者率は7.7%で、総合計画基準値 (H27) と比較し横ばいです。 (原因) 国・県の各種施策は、認定農業者を対象要件とする農業担い手を重視したものに転換しており、各種制度を活用するために、認定農業者は増加しています。一方で、高齢化や認定メリットを感じないことを理由に、認定を更新しなかったケースがあったため、微増となりました。						目標達成度 (低)

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標②	担い手への農地利用集積面積 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	1,865.0	3,064.9	3,061.3	2,200.0	(向上)
評価	(状況) 担い手への農地利用集積面積 (累計) は3,061.3haで、総合計画基準値 (H28) と比較し1,196.3ha増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 農地集積面積は、国の調査における担い手の経営面積の合計としていますが、平成29年度から国の指導により対象者の抽出方法を変更したことから、対象者が増加し、面積が大幅に増加しました。						目標達成度 (達成)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標①	耕作放棄地面積 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	482	537	535	458	(低下)
評価	(状況) 耕作放棄地面積 (累計) は535haで、総合計画基準値 (H28) と比較し53ha増加しており、順調ではありません。 (原因) 浜田、小塩江、長沼、岩瀬などの各地で、農業従事者の高齢化や担い手不足などを理由に、条件が悪く、受け手 (借り手) が見つからない耕作地が耕作放棄地になったと考えられます。						目標達成度 (低)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標②	基盤 (ほ場) 整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	48.9	49.2	49.8	50.3	(向上)
評価	(状況) 基盤 (ほ場) 整備率は49.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.9ポイント増加しており、順調です。 (原因) 県営土地改良事業の「前田川地区」及び「森宿地区」の整備が順調に進んだことによるものです。						目標達成度 (中)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標③	農村環境保全取組面積率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	40.4	42.4	44.9	43.7	(向上)
評価	(状況) 農村環境保全取組面積率は44.9%で、総合計画基準値(H28)と比較し4.5ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 多面的機能支払交付事業の普及促進活動により、活動組織数が平成28年度の39組織から44組織に増加し、取組面積が増加したことによるものです。						目標達成度
							(達成)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標④	各種補助により生産施設等を整備した件数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	件	18	21	29	38	(向上)
評価	(状況) 各種補助により生産施設等を整備した件数(累計)は29件で、総合計画基準値(H28)と比較し11件増加しており、順調です。 (原因) 県の補助事業によるキュウリのパイプハウス施設を平成29年度に3件、平成30年度に4件導入し、また、新たにイチゴのUV-B電球型蛍光灯4件を平成30年度に導入したことにより、件数が増加しました。						目標達成度
							(中)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標①	水田利活用助成金の交付対象者数 (延べ人数)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	562	1,182	406	620	(低下)
評価	(状況) 水田利活用助成金の交付対象者数(延べ人数)は406人で、総合計画基準値(H28)と比較し156人減少しており、順調ではありません。 (原因) 平成30年度から米の生産数量調整目標値が廃止されたことに伴い、主食用米に転換した農家数が増加したことにより、助成金の交付対象者数が大幅に減少しました。						目標達成度
							(低)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標②	収入減少対策に加入している農家数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	274	281	251	300	(低下)
評価	(状況) 収入減少対策に加入している農家数は251人で、総合計画基準値(H28)と比較し23人減少しており、順調ではありません。 (原因) 米の価格が上昇傾向にあるため、米・畑作物の収入の減少補てん対策である収入減少影響緩和交付金に加入する農家数が大幅に減少しました。						目標達成度
							(低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項03 農業経営の安定確保

指標③	キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	27.4	30.2	44.9	30.0	(向上)
評価	(状況) キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）は44.9haで、総合計画基準値（H28）と比較し17.5ha増加しており、順調です。 (原因) 平成29年度から開始したネコブセンチュウ対策の周知が図られたことにより、病害虫防除対策をする農業者が前年度と比較し85名増加しており、防除面積も大幅に増加しました。						(達成)
							目標達成度

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標①	代表的な産地指定農産物のJA出荷量（キュウリ）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	t	5,380	5,370	5,270	→	(低下)
評価	(状況) 代表的な産地指定農産物のJA出荷量（キュウリ）は5,270tで、総合計画基準値（H28）と比較し110t減少しており、順調ではありません。 (原因) 高齢化による農家戸数・作付面積の減少に伴い、生産量・出荷量も減少したと考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標②	代表的な特産農産物のJA出荷量（日本ナシ）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	t	1,200	1,216	1,156	→	(低下)
評価	(状況) 代表的な特産農産物のJA出荷量（日本ナシ）は1,156tで、総合計画基準値（H28）と比較し44t減少しており、順調ではありません。 (原因) 原発事故の風評被害により直売からJA出荷に切り替える農家が増加しており、直近3年間ではJAへの出荷が増加傾向にありましたが、若干減少しました。						目標達成度
							(低)

基本事項05 特産農産物の販売促進

指標①	代表的な産地指定農産物のJA販売額（キュウリ）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	百万円	1,563	1,542	1,885	→	(向上)
評価	(状況) 代表的な産地指定農産物のJA販売額（キュウリ）は1,885百万円で、総合計画基準値（H28）と比較し322百万円増加しており、順調です。 (原因) 出荷量は減少したものの、平成30年度は西日本で発生した豪雨災害の影響等により、kg当たりの販売単価が約2割上昇したことで、販売額が増加しました。						目標達成度
							(達成)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項05 特産農産物の販売促進

指標②	代表的な特産農産物のJA販売額（日本ナシ）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき										
	【農政課】	百万円	282	290	293	→	☀ (向上)										
評価	<p>(状況) 代表的な特産農産物のJA販売額（日本ナシ）は293百万円で、総合計画基準値（H28）と比較し11百万円増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 関東地方から東北地方へ産地が変わる産地リレーが順調に行われたことや、kg当たりの販売単価が上昇したことで販売額が増加しました。</p>	<p>(百万円)</p> <table border="1"> <caption>販売額推移表 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>360</td> </tr> </tbody> </table>					年度	販売額	H28	282	H29	290	H30	293	R04	360	目標達成度
		年度	販売額														
H28	282																
H29	290																
H30	293																
R04	360																
							■ ■ ■ (低)										

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内商工業事業所	市内商工業の振興が図られています。

施策の成果状況と評価

指標	経営状況が良いと感じている事業所の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	①	【商工労政課】	%	18.1	17.9	16.7	→
評価	(状況) 経営状況が良いと感じている事業所の割合は16.7%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.4ポイント減少しており、順調ではありません。 (原因) 建設業や製造業の分野における人手不足、人件費の増加、さらには売上の停滞・減少などの影響が考えられます。						目標達成度
							■ (低)
指標	収益が増加した事業所の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	②	【商工労政課】	%	18.9	27.9	23.0	→
評価	(状況) 収益が増加した事業所の割合は23.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較し4.1ポイント増加しており、成果は向上しています。 (原因) 製造業、卸・小売業、サービス業で収益が増加しており、人手不足に対応した生産の省力化や効率化に伴う設備投資が図られるなど、生産性向上に取り組んでいることなどが原因と考えられます。						目標達成度
							■ (高)
指標	雇用調整を実施した事業所の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	③	【商工労政課】	%	6.2	6.5	5.9	→
評価	(状況) 雇用調整を実施した事業所の割合は5.9%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.3ポイント減少しており、成果は向上しています。 (原因) 事業所において残業の規制、配置転換、さらには勤務時間の短縮などを実施しており、人手不足や働き方改革の影響によるものと考えられます。						目標達成度
							■ (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 商業の振興
基本事項 02 工業の振興
基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項01 商業の振興

指標①	市内卸売・小売業年間売上高	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工労政課】	百万円	131,450	131,949	—	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) に取得した数値です。						---
	(状況) 成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和元年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、大規模小売店舗の設置が進んだことなどにより、順調に目標値に向かってしていると推測されます。						目標 達成度

基本事項01 商業の振興

指標②	市内卸売・小売業事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工労政課】	社	623	668	—	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) に取得した数値です。						---
	(状況) 成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和元年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、大規模小売店舗の設置が進んだことなどにより、順調に目標値に向かってしていると推測されます。						目標 達成度

基本事項01 商業の振興

指標③	市内卸売・小売業事業所従業員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工労政課】	人	4,355	4,591	—	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) に取得した数値です。						---
	(状況) 成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和元年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、大規模小売店舗の設置が進んだことなどにより、順調に目標値に向かってしていると推測されます。						目標 達成度

基本事項02 工業の振興

指標①	市内製造品出荷額等	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工労政課】	百万円	172,527	167,352	170,558	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) に取得した数値です。						☔ (低下)
	(状況) 市内製造品出荷額等は170,558百万円で、総合計画基準値(H26)と比較し1,969百万円減少しており、順調ではありません。(原因) 市内企業の多くは、中小企業・小規模企業であり、取引企業との需給関係や社会経済状況等による事業の統廃合などにより減少しているものと考えられます。						目標 達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 商業の振興
基本事項 02 工業の振興
基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項02 工業の振興

指標②	市内工業事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工労政課】	社	172	167	163	→	☔ (低下)
評価	基準値は、2014 (H26) に取得した数値です。 (状況) 市内工業事業所数は163社で、総合計画基準値 (H26) と比較し9社減少しており、順調ではありません。 (原因) 市内企業の多くは中小企業・小規模企業であり、取引企業との需給関係や社会経済状況等による事業の統廃合、さらには、事業者の後継者問題などにより減少しているものと考えられます。					目標達成度	
							■ ■ ■ (低)

基本事項02 工業の振興

指標③	市内工業事業所従業員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工労政課】	人	6,964	7,058	6,960	→	☁ (横ばい)
評価	基準値は、2014 (H26) に取得した数値です。 (状況) 市内工業事業所従業員数は6,960人で、総合計画基準値 (H26) と比較し4人減少していますが、横ばいの状況です。 (原因) 市内企業の多くは、中小企業・小規模企業であり、取引企業との需給関係や社会経済状況等による事業の統廃合、さらには、事業者の後継者問題があるものの、全国的な労働力不足から、企業の求人活動が活発に行われたため、横ばいになったものと考えられます。					目標達成度	
							■ ■ ■ (低)

基本事項03 中心市街地の活性化

指標①	市内中心部における平日歩行者通行量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工労政課】	人/日	2,026	2,421	2,588	2,700	☀ (向上)
評価	(状況) 市内中心部における平日歩行者通行量は2,588人で、総合計画基準値 (H28) と比較し562人増加しており、順調です。 (原因) 市庁舎の開庁や県道の拡幅工事の完了などにより、中心市街地への来街者が増加したと考えられます。					目標達成度	
							■ ■ ■ (高)

基本事項03 中心市街地の活性化

指標②	商店会等加盟店舗数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工労政課】	店舗	161	163	165	165	☀ (向上)
評価	(状況) 商店会等加盟店舗数は165店舗で、総合計画基準値 (H28) と比較し4店舗増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 市庁舎や市民交流センターが整備され、中心市街地の魅力が向上し、新規出店が増加したためと考えられます。					目標達成度	
							🏰 (達成)

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 04 観光振興と交流促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
須賀川市に訪れる人	須賀川市を訪れ滞在する人が増加します。

施策の成果状況と評価

指標①	平日14時に本市に滞在していた人数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【観光交流課】	人	56,786	56,407	55,983	58,500
評価	<p>(状況) 国の地域経済分析システム(RESAS)によると、平均滞在人口(4月～8月平均)は55,983人です。なお、総合計画基準値(H28)は1年間の平均、H29年度実績値は4月から8月の平均です。県外からの来訪者は、東京都が1位、次いで埼玉県、神奈川県、宮城県、千葉県と首都圏が上位を占めています。</p> <p>(原因) RESASでは来訪目的が不明ですが、新庁舎視察や市民交流センター整備関係の来訪やビジネスでの来訪が考えられます。</p>						目標 達成度
		■ ■ ■ (低)					

指標②	休日14時に本市に滞在していた人数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【観光交流課】	人	58,598	58,926	58,685	60,400
評価	<p>(状況) 国の地域経済分析システム(RESAS)によると、平均滞在人口(4月～8月平均)は58,685人です。なお、総合計画基準値(H28)は1年間の平均、H29年度実績値は4月から8月の平均です。県外からの来訪者は、平日と同様、東京都が1位、次いで埼玉県、神奈川県、宮城県、千葉県と首都圏が上位を占めています。</p> <p>(原因) RESASでは来訪目的が不明ですが、観光や帰省等が考えられます。</p>						目標 達成度
		■ ■ ■ (高)					

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光誘客の推進
基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進
基本事項 03 空港利活用の促進
基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項01 観光誘客の推進

指標①	観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	1,235,234	1,268,000	1,247,266	1,500,000	(向上)
評価	(状況) 観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数は1,247,266人で、総合計画基準値 (H28) と比較し12,032人増加しており、順調に推移しています。 (原因) 首都圏や友好都市でのPR活動、メディアによる積極的なPRを行い、市の認知度向上に努めたためです。また、6年間継続して実施しているウルトラマン関連事業が全国的に浸透してきていることも原因と考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標①	都市間交流補助事業の活用団体数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	団体	3	6	2	8	(横ばい)
評価	(状況) 都市間交流補助事業の活用団体数は2団体で、総合計画基準値 (H28) と比較し1団体減少しており、成果は横ばいです。 (原因) 本市と交流のある都市で行われるイベントや行事の情報を的確に発信できなかったため、市民レベルでの交流が停滞したと考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標②	国際交流に関心がある市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	%	42.2	-	40.6	→	(横ばい)
評価	(状況) 国際交流に関心がある市民の割合は40.6%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.6ポイント減少しましたが、実績値は市民アンケートによる取得のため、統計誤差の範囲内であり、横ばいです。なお、「現在交流している」が4.2%、「交流に関心がある」が36.4%でした。 (原因) 外国人との接点が少ないこと、多様な外国文化を学ぶ環境が整っていないことが要因と考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項03 空港利活用の促進

指標①	福島空港の利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	247,706	259,618	267,356	→	(向上)
評価	(状況) 福島空港の利用者数は267,356人で、総合計画基準値 (H28) と比較し19,650人増加しており、順調に推移しています。搭乗率で見ると、札幌便が60.3%から64.2%に、大阪便が57.1%から59.0%に、それぞれ増加しています。チャーター便については、国内線が108便から85便に減少しましたが、国際線が69便から146便に増加しています。 (原因) 国際チャーター便の運航が大幅に増加したことや、空港利用助成制度の周知により活用が図られたことなどが、利用者増につながっていると考えられます。						目標達成度
							(低)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 観光誘客の推進
- 基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進
- 基本事項 03 空港利活用の促進
- 基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項03 空港利活用の促進

指標②	本市事業を活用した福島空港利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【観光交流課】	人	493	481	414	700
評価	<p>(状況) 本市事業を活用した福島空港利用者数は414人で、総合計画基準値 (H28) と比較し79人減少しており、順調ではありません。 (原因) 昨年9月に発生した北海道胆振東部地震の影響により、札幌便の利用者が減少したことが要因と考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (低)

基本事項04 観光施設の適切な維持管理

指標①	観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【観光交流課】	人	84,610	144,539	161,539	95,000
評価	<p>(状況) 観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数は161,539人で、総合計画基準値 (H28) と比較し76,929人増加しており、目標値を達成しています。なお、観光施設の指定管理者導入施設については、4施設となりました。 (原因) 指定管理導入施設が、平成29年度から1施設増加したことが主な原因です。また、各施設において民間のノウハウを十分に生かした経営と利用者へのサービス向上を図ってきた成果が表れていると考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (達成)